

キャリアプロジェクト啓

Kei だより

2024

佐野東高校では、3年間を通して「キャリアプロジェクト啓」に取り組みます。今回は1年生の取組を中心に紹介します。

◆学校祭における中間発表

1年生は8月30、31日の葉聖里祭にて、佐野市のキッチンカー等とのコラボレーション商品を販売しました。ご協力いただきました栗崎鋳工所様（さのまる焼き）、なるねこ様（黒からあげ）、COCO様（ワッフル）、fun様（餃子）、クレープマルシェ様（クレープ）にはオリジナル商品の企画から販売まで大変お世話になりました。当日は多くの方々にご購入いただき、生徒は忙しさの中でも笑顔で接客し、達成感を味わうことができました。



◆1年生大学・企業訪問 ↓東京理科大学にて



11月14日（木）東京都内の5大学、11の省庁・企業を訪問しました。大学のキャンパスを見学し、大学生や職員方々のお話を聞くことができました。学食体験ができた大学もあり、大学生気分を味わいました。高校と大学の違いを理解し、主体的に進路選択に向かうことの大切さを実感しました。また、企業訪問では各企業の理念や社会貢献への取組等を知るとともに、社会で必要な力や高校生として心がけておくべきこと等についての話を聞くことができました。訪問を通して、自分自身の探究学習における課題発見や進路選択に繋がりました。

↓朝日新聞東京本社にて



「キャリアプロジェクト啓」とは？

佐野東高校では、「キャリアプロジェクト啓」と称する探究型キャリア教育に取り組んでいます。生徒一人ひとりが自身の適性や興味関心に応じて、課題を設定し研究を重ねることで、キャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力の育成を目指しています。大学や企業等との連携や協働により、自ら設定した課題をより深めるとともに、社会の一員としての自覚を持ち、自己実現を図ることをねらいとしています。特に「総合的な探究の時間」での一連の活動を“Kei”と呼び、3年間を通じて自分自身の進路に向き合います。

今村亮先生による演習

今村亮先生（桜美林大学高大連携コーディネーター・株式会社DISCOVERY STUDIO 代表取締役）に、1学年、2学年ともに探究学習のテーマ設定や検証方法等についての演習を行っていただいています。各自の研究テーマについて、グループ内で発表や意見交換をする姿が見られます。真剣に探究課題に向き合いつつも、教室には常に笑顔があふれています。



大学・企業訪問一覧

【大学】

専修大学（神田キャンパス）
東京理科大学（葛飾キャンパス）
東洋大学（赤羽台キャンパス）
明治大学（駿河台キャンパス）
立教大学（池袋キャンパス）

【企業】

法務省 防衛省 Classi 株式会社
クラシエ株式会社 国際機関日本アセアンセンター
日本科学技術振興財団 日本臓器移植ネットワーク
株式会社野村総合研究所 日本通運株式会社
東京地下鉄株式会社（東京メトロ） 朝日新聞社

2 学期 Kei 関連の活動

福祉講演会 「自分らしさをみつめる」

10 月 18 日（金）本校第 1 体育館にて株式会社あおいけ代表取締役である加藤忠相氏による福祉講演会が行われました。この講演会は「三菱みらい育成財団」の助成事業として実施しました。加藤様が運営する神奈川県藤沢市にある介護施設「あおいけあ」では一人ひとりが「自分らしい」生活を送っています。職員も利用者も誰もが自分ができることをし、支えあって生活をしています。感動的なエピソードをご紹介いただき、自分自身を見つめ、自分らしさを考えるきっかけとなりました。



インドネシア留学生 交流プログラム

10 月 29 日（火）インドネシアの Nurul Fikri 高校より、生徒 69 名が来校しました。本校生徒 36 名がバディとして、体験活動に留学生とともに参加し、交流を深めました。2 学年の Kei プロジェクトにご協力いただいた佐野市地域おこし協力隊の砂子間仁実様のご依頼により実現しました。バディ 36 名は、10 月 21 日（月）に事前学習として佐野市の NPO 団体ちよこつとの代表である熊倉百合子様によるインドネシアの文化や宗教、言語についての講座を受講し、交流会に臨みました。歓迎セレモニーでは、本校の箏曲部による演奏と、留学生によるアングルンというインドネシアの楽器を用いた演奏が行われました。留学生は茶道体験・箏曲体験・書道体験・英語講座の中から、それぞれ 2 つのプログラムを体験し、日本文化を楽しんでくれた様子でした。体験活動後には、インドネシアの留学生がイスラム教のお祈りの時間をとることになり、本校の生徒は異文化を肌で感じることができました。本校生徒からは「英語をもっと話せるようになりたい」、「コミュニケーション力を伸ばしたい」、「英語が通じてうれしかった」、「言語・文化・宗教などが違っていても親交を深めることができた」などの感想が寄せられました。



インターンシップ推進事業 学校・地域連絡会議

12 月 11 日（水）佐野松桜高校にてインターンシップ推進事業学校・地域連絡会議が行われました。3 学年の保育基礎選択者 4 名が、呑竜幼稚園及び佐野日本大学短期大学でのインターンシップの体験を報告しました。また、昨年より 2 学年の Kei プロジェクトが、この事業として位置付けられており、2 学年の医療ゼミ、電気電子ゼミ、まちゼミの代表者 3 名が、Kei プロ Day をはじめとしたゼミでの活動や研究内容について発表しました。



佐野市政懇談会

11 月 29 日（金）佐野市役所において市政懇談会（学生対象型）が実施



され、本校生徒 65 名が参加しました。まちづくりゼミや国際ゼミに所属する生徒のほとんどが出席し、自らの課題に関連した質問等も行いました。「佐野市が観光に力を入れるとしたら何をメインにしたらいいか」、「佐野新都市、佐野駅周辺の中心部のどちらに力を入れていくのか」、「交通機関のバリアフリー化など身体に障がいのある人も住みやすい街にするための方策は」、「日本人と外国の方々が交流できる場所はあるか」、「歩道が狭い箇所の解決策は」等の佐野市をよりよくするための課題について様々な角度から質問が出ました。金子裕市長はそれぞれの質問に丁寧に回答していただき、生徒は佐野市の政策を知り、視野を広げることができました。社会の一員として、地域の課題について考える機会となりました。



2 年 Kei オンライン等による外部機関のサポート

足利大学、佐野日本大学短期大学、群馬パース大学、佐野市役所、佐野厚生総合病院の皆様へ個人研究への指導助言、インタビューやアンケート等にご協力いただきました。「総合的な探究の時間」だけでなく、放課後や冬休み中も対面やオンラインでご対応いただき、個人研究を深めることに繋がりました。



12 月 25 日（水）栃木県総合文化センターにおいて、栃木県 STEAM 教育推進事業

栃木県 STEAM 教育推進事業 「わたしたちの探究フォーラム」

「わたしたちの探究フォーラム〜“ワクワク”をカタチに！〜」が開催されました。本校からも 2 年生 3 名が参加し、Kei プロジェクトの成果をポスターセッションにより発表しました。赤信号で止まらずに少しでも早く登校するためのシミュレーションやアプリの提案をした『早く登校したい！』、誰もが困っている人に手を差し伸べたくなるよう、親和性の高いロボットが活躍する駅を目指す『駅からはじまるまちづくり』、空き家をゲストハウスとして若者に利用してもらい、佐野の魅力伝えることを提案した『ゲストハウスから知るまちの魅力』といったユニークな提案をしてきました。3 人とも他校生の中で堂々と発表を行いました。また、様々な取組を見学し、その行動力や実行力に、大変刺激を受けた様子でした。



Develop your knowledge
Enrich your heart through experience
Open the door to a new world by innovation

知を啓き 心を啓き 新しい伝統の扉を啓く

❖ おわりに ◆ 3 学期は 1・2 学年ともに発表会を予定しています。1 学年は 2/14、2 学年は 1/17、31 に体育館でのポスターセッションを行います。3/19 は代表者の発表会です。社会課題や自分の夢や興味関心を、これまで取り組んできた思いを込めて語ってください。調べ学習に終わらず、一歩踏み出した成果が見られることを期待しています。◆ 年内入試を受験した 3 年生は Kei プロジェクトの取組を面接等で話す場面があったかと思います。一般選抜に向かう 3 年生は、日々の積み重ねが未来を啓くことを信じて本番に臨んでください。（文責 早川）